



館内大浴場

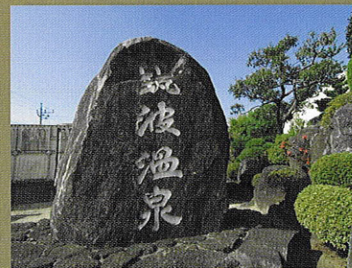
## 筑波嶺の奥底から湧き出す 天然温泉になごむひととき

当ホテルの誇る筑波温泉は、多様なミネラル分を含む弱アルカリ性の泉質。さっぱりとして肌ざわりがよく、湯上がりの温かさが長く持続するとの評判をいただいております。

筑波山の自然林に囲まれた御影石造りの露天風呂は、桜、ツツジ、椿など四季折々の花があたりに咲き揃い、心身両面からのくつろぎが得られます。特に桜の時期には散りかかる花びらが湯船に舞い、格別の風情がございます。

また、日帰り入浴の営業もしておりますので、ハイキングなどの後で汗を流して疲れをいやすにも最適です。

お気軽にお立ち寄りください(年末年始を除く)。



### 筑波温泉の由来

当社初代社長・市川栄子は少女の頃から、筑波山の美しい眺めに魅了され、「ここに温泉があればどんなに素晴らしいだろう」と考えておりました。

土浦で旅館経営の実績を積んだ後、昭和42年8月に当ホテルを開業、夢を実現するための挑戦が始まります。地質学の専門家から「可能性はゼロ」と言われながらも迷うことなく工事に着手。筑波山の土中に眠る硬い花崗岩層には、油井掘削の技術を応用して掘り進め、約1年後の昭和49年9月、深度1353メートルの地点でついに湯脈を発見。全財産を投じて誕生した筑波山初の天然温泉。地域振興の願いを込めて「筑波温泉」と命名いたしました。

源泉名:筑波温泉和楽R1号

泉質/単純温泉(緩和低張性温泉) pH/7.50

泉温/37~42℃ 揚湯量/毎分18立方メートル

効能/リウマチ性疾患、運動器障害、神経痛、神経麻痺、疲労回復、病後期回復ほか